

ごみステーションの 新規設置、移動、改造

再確認

ごみステーションの変更（移動や改造）、あるいは新規設置の計画がありましたら、後日のトラブルを避けるためにも、**事前にみどり園までご相談ください。**改善を要する事例・内容と、改善方法の例を紹介します。

ステーションの型式	改善を要する事例及び内容	改善方法の一例
上蓋や開戸のあるステーション	ごみの出し入れが困難で、急にしまったりして、住民や収集員が負傷をする危険性がある	上蓋や開戸をゴミネットやカーテン式のものに替える
水路越しのステーション	ごみの出し入れが困難で、住民や収集員が水路や溝に落ち負傷をする危険性がある。	比較的大きな溝蓋をかける
交通安全上見通しの悪い場所にあるステーション	見通しが悪いため、ごみの出し入れ中に交通事故にあう危険性がある。	見通しの良い場所に変更する
上方部のネット、あるいは上方面全体が固定してあるステーション <下記図で明記>	ごみの出し入れが困難なため、作業する場合も、住民のみなさんがごみを持ち出す場合にも、安全面での支障が生じる。収集車の停車時間が長くなり、交通面の支障もある。	ネットを固定している留め金を外し、横棒を装着。横棒がズレないように、受け口を工夫する。

- * 構造上支障のある既存ステーションについても、自治会等を窓口で随時改善をお願いしていく予定です。よろしくご理解をお願いします。
- * また新設の場合は設置条件があります。必ずみどり園へご相談ください。

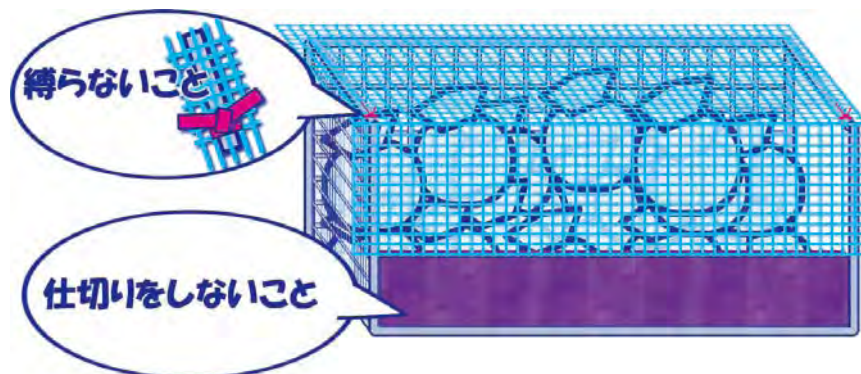


- ◀ 屋根付きの場合は、充分に高さが必要されていること。
- ▼ 中に入って自然に立てるくらいの高さが必要。カーテン式になっている。



- ▼ 足元の仕切がなくても、このように、横棒を通せば重しになる。

好ましいステーションの事例を写真で紹介します。



- ▲ 仕切はごみの出し入れが困難。足元も危険（安全作業のため）ネットにすることで、容積の調整がしやすい。



ネットの横棒の受け口をつくる▶

